

新型コロナの影響で花火大会や城まつりが中止になり、例年のようなお盆らしさがなかった酷暑の8月が終わり、9月の始まりです。

『暦の上では秋』とはいっても、まだまだ残暑は厳しいですが、朝晩を中心に涼しい時間が増えてきます。セミの鳴き声からコオロギの鳴き声へと変わること、季節の移ろいを感じることができます。

気温差で体調を崩しやすくなりますので、体調管理には十分に気をつけましょう。

✿ **お父さんも一緒!!** ✿
 ~ お父さんの利用が増えました ~

お父さんは、妊娠・出産・授乳ができないため、赤ちゃんとの愛着関係を作るには、「意識して関わる」ことが必要です。

おっぱいをあげられないお父さんにとって、「抱っこ」は赤ちゃんとの最高のスキンシップです。



✿ **おばあちゃんの孫育て** ✿
 ~ 孫育ては、いいことがいっぱい ~

- ・孫（子ども）は多くの人から愛情をもらえる。
- ・ゆったりと接してもらえる。
- ・父母とは違った価値観に触れることができる。



おばあちゃんのおおらかなまなざしに包まれて情緒が安定し、**自己肯定感**が育まれていきます。

8月は、中庭にプールを準備しました。直射日光が当たらないよう、職員で試行錯誤しながら日よけシートを張りました。1歳にならない小さな子は、ひとりで入るほうが落ち着くのかな?と考え、タブを準備しました。また、快適に遊べるよう水温にも配慮しました。

「気持ちいいね」「冷たいね」とのやり取りが聞かれ、親子の笑顔がいっぱい見られました。

水は無形なので、自由に遊べます。水面を叩いたり、バケツやコップですくったりするなど、とても感覚的に扱えるものです。水遊びをすることで、五感を通して「**楽しいな**」「**おもしろいな**」「**不思議だな**」という気持ちが育まれていきます。何よりも、「**気持ち良さ**」を感じることで**生きる喜び**になり、**生きる力**に繋がっていきます。五感の発達著しい3歳までの時期においては、感覚遊び（身近にあるものの存在を自分の体で体験することで覚えていく遊び）をたくさん経験させたいですね。

いきなり水の中へというより、周りで遊ぶことにより、少しずつ水に慣れ親しんでいきます。



たくさんのおもちゃも一緒に、心がウキウキするね!



信頼できる大人に見守られ、安心して遊ぶことができます。